

今号の主な記事

2面	新たな「目黒区基本構想」
3面	乳幼児クラブほか
4面	区の組織変更ほか
5面	特殊詐欺にご注意ほか
6面	情報ボックスほか
7面	乳がん検診ほか
8面	保健医療福祉計画などの改定

No.2099

令和3年
(2021年) 3/25
毎月5・15・25日発行



4/2は世界自閉症啓発デー
4/2～8は発達障害啓発週間

めぐろ区報

新たな「目黒区基本構想」を策定しました



目黒区の将来像

さくら咲き
心地よいまち
ずっとめぐろ

みどり豊かな環境とそこで暮らす区民の笑顔を「さくら」に例え、時代を通じて花が咲き誇る姿をイメージしました。将来にわたり、社会や環境が目まぐるしく変化する中であっても、誰にとっても心地よいと感じることができるまちを目指します。



目黒区長
青木英二

区民の皆さまなどからご意見をいただき、20年ぶりに新たな基本構想を策定しました。

変化の激しい近年において、今まさに区政は大きな変革期を迎えており、この先の取り組みが明るい未来をつくるといっても過言ではありません。特に、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、これからも区民の皆さまとともに見えない敵に立ち向かっていかなければなりません。

区は、区民生活を支える基礎自治体として、さまざまな変化やリスクを可能な限り想定し、地域の活力が失われることなく、すべての人々にとって暮らしやすい、個性豊かな地域社会を形成していく必要があります。そして、将来にわたって持続可能な行政サービスを展開していくことを基本として、区政を推進していかなければなりません。

この基本構想が見据えるのは20年後、ポストコロナのさらに先の2040年の未来社会です。日本全体の人口規模が縮小していく一方で、想像もつかない技術革新により私たちの生活は一層大きく変化していると思います。

私は新たな基本構想を、変化の激しい困難な時代に立ち向かうための区政運営の羅針盤として、政策や施策の具体化を図り、区民の皆さまとともに、誰もが笑顔になれる心地よいまちの実現に向けて、区政運営にまい進してまいります。